

一般社団法人化のご挨拶

一般社団法人 日本マスキリーニング学会  
理事長 大浦敏博

日本マスキリーニング学会は 1973 年代謝異常スクリーニング研究会として発足しました。1990 年には研究会から日本マスキリーニング学会となり、新生児マスキリーニングの検査法、診断・治療技術の開発・向上、これらに関わる医師、研究者・技術者の育成、情報交流、患者の長期追跡・評価、社会啓発を通じて、母子保健・福祉の発展に資することを目的として活動してきました。多くの日本小児科学会分科会が法人化に移行する中で、本学会でも 2018 年の理事会において法人化の準備を進めることが承認され、法人化に向けてのロードマップが作製されました。定款案作成などの作業が開始され、最終的に 2021 年 9 月 1 日をもって「一般社団法人 日本マスキリーニング学会」へ移行しました。

法人化とは学会が法的に人格を持つことで、これまでの任意団体とは異なり、社会的地位の向上が期待されます。自治体と連携して活動することの多い本学会としては、法人化による「社会的信用の増加」や「事業の受託が可能」などは大きな利点になると考えます。

本学会は過去 48 年の歴史の中で培ってきた活動を継続しつつ、今後も新生児マスキリーニングの発展に貢献すべく努力して参ります。関係者皆様方の変わらぬご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021 年 9 月